

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
数学 I	3	1年・普通科 スタンダード	必修	改訂版 高等学校 数学 I (数研出版)	補助教材

学習目標	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の美しさとすばらしさを認識できるようにする。
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の整理・加法・減法・乗法や因数分解、実数の意義と根号を含む式の計算、1次不等式を解くことができるようにする。また集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。 ・2次関数とそのグラフについて理解し、その値の変化を理解し、2次不等式が解けるようにする。 ・三角比の意味とその基本的な性質を理解し、実際の測量の基本を理解するとともに、三角比を応用して三角形の各値を求めることができるようにする。 ・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理分析して傾向を把握できるようにする
評価の観点・規準	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関心・意欲・態度 … 考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。 ○ 数学的な見方や考え方 … 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。 ○ 数学的な技能 … 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 ○ 知識・理解 … 基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
評価の方法	<p>主に次の2点について評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」及び「知識・理解」は、この3観点に関する問題を中心に、中間テスト・期末テスト・錬成テスト(長期休業中の宿題確認テスト)で出題して総合評価する。 ・「関心・意欲・態度」の観点は、授業中の小テストや副教材の提出状況、設問への取り組み状況、授業への取り組み(発言・発表・発問など)具合など等を考慮して総合評価する。

学期	内容
1 学期	第1章 数と式(p6~61) 第1節 式の計算 1. 整式の加法と減法 2. 整式の乗法 3. 因数分解 (中間考査)
	第2節 実数 4. 実数 5. 根号を含む式の計算 第3節 1次不等式 6. 不等式の性質 7. 1次不等式 8. 絶対値を含む方程式・不等式 第4節 集合と命題 9. 集合 10. 命題と条件 11. 命題とその逆・対偶・裏 12. 命題と証明 (期末考査)
2 学期	第2章 2次関数(p66~116) 第1節 2次関数とグラフ 1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ 第2節 2次関数の値の変化 3. 2次関数の最大・最小 (中間考査)
	第3節 2次方程式と2次不等式 4. 2次関数の決定 5. 2次方程式 6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7. 2次不等式 第3章 図形と計量(p120~152) 第1節 三角比 1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張 (期末考査)
3 学期	第2節 三角形への応用 4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理の応用 7. 三角形の面積 8. 空間図形への応用 第4章 データの分析(p156~178) 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位数 4. 分散と標準偏差 5. データの相関 6. 表計算ソフトによるデータの分析 (学年末考査)

備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等
----	---